

「山形の魅力」をシンガポールでPR!!

シンガポール事務所

11月24日（火）から12月5日（土）までの二週間、山形県は在シンガポール日本大使館の日本の文化と技術を中心とした情報発信施設 Japan Creative Centre（JCC）で「山形デザイン展」を開催しました。23日（月）は展示会の特別イベントとして吉村美栄子知事が山形県の魅力を紹介したほか、最終日にはけん玉イベントを実施しましたので、その概要をお知らせします。

1 「山形デザイン展」の概要

山形県は美しい自然と文化が共存し、歴史と伝統を源流とした優れたものづくりが脈々と息づいています。こうした背景を持つ山形のものづくりですが、最近ではデザイナーとのコラボレーションに



山形デザイン展の展示品の数々

より、現代の生活様式にアジャストした新たな価値の提供に挑戦しています。こうした製品を鋳物、木工製品、織物、籐工芸の分野から選定し、シンガポールの高い感性を持つ層に対し発信して、「山形ブランド」の知名度向上につなげようという狙いがあります。

2 「特別イベント Fruitful Yamagata Life」

「山形デザイン展」のキックオフイベントとして23日（月）の夕方に開催し、竹内駐シンガポール日本国大使をはじめとして、シンガポールの観光や輸入販売業界、メディア関係者等100名を超える方々から参加をいただきました。吉村知事は参加者に対し山形県の観光資源や農産物、日本酒、ものづくりの魅力をプレゼンテーションしました。続いて小里山形県ASEAN貿易コーディネーターが展示物



吉村知事が山形県の魅力を紹介



展示物を見学する参加者

と山形のものづくりの魅力について紹介し、小関山形県工業技術センター所長は山形の酒造りの取り組みをレクチャー。山形の日本酒は全米日本酒歓評会で8年連続金賞受賞数が日本一であることなど海外からも高い評価を得ていることが紹介され、レクチャーの途中では試飲を交えてその味を確かめてもらいました。レセプションでは、りんご、ラ・フランスなど旬の果物を使った料理や桃などの果物ジ

ユース、さくらんぼワインが来場者に振る舞われ、来場者は「Fruitful Yamagata Life（実りの国 山形）」を体感していました。

3 「山形」をけん玉で情報発信

最近、シンガポールの子どもたちの間ではけん玉が流行しており、街のいたるところで遊んでいる姿をみかけます。山形県は日本けん玉協会が認定する競技用けん玉の生産量が日本一を誇っており、今回のイベントは本物のけん玉に触れてもらう良いきっかけになると考えて実施しました。

当日は時々雷雨となる天気でしたが、参加者は60名を超え、けん玉人気の高さが窺えました。デモンストレーターによる「大皿」や「小皿」、「とめけん」など基本的な技の紹介に始まり、子どもたちへの指導と初級・中級に分かれてのけん玉競争と進み、最後は模範演技が披露されました。日本でけん玉の技というと「日本一周」や「もしかめ」を想像される方が多いと思いますが、当地ではストリート系の本体をくるくる回す技の注目度が高く人気があるようです。



参加者にけん玉を指導

参加した子どもたちには山形産のけん玉を1本ずつプレゼントしましたが、大変喜ばれました。このけん玉を友達に見せて、触れて、一緒に遊ぶことで「けん玉 = 山形」のイメージ構築と知名度向上につながることを期待しています。

4 今後の展開に向けて

イベントはあくまでもきっかけづくりに過ぎません。これを契機に構築した人脈や Momentumをいかに維持・深化していくかが重要となります。少しでも多くの方々へのフォローアップに継続して取り組み、工芸品だけでなく、食品等を含めた県産品の取引拡大や、観光誘客の面での認知度向上に努めていきたいと思えます。

(鈴木駐在員 山形県派遣)